



事務連絡
令和2年5月20日

一般社団法人日本倉庫協会 御中

国土交通省総合政策局参事官（物流産業）室

高濃度ポリ塩化ビフェニルを含むコンデンサー等が使用された機器の
所有の有無の確認及び早期処理について（周知）

日頃より、国土交通行政の推進に多大なる御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

高濃度ポリ塩化ビフェニル廃棄物（以下「高濃度 PCB 廃棄物」という。）については、国が全額出資した特殊会社である中間貯蔵・環境安全事業株式会社（以下「JESCO」という。）を活用し、地元の理解と協力の下、全国 5 か所の処理施設を活用して処理が行われているところです。ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（平成 13 年法律第 65 号。以下「PCB 特別措置法」という。）においては、JESCO の処理施設ごとに定める計画的処理完了期限の 1 年前を処分期間の末日として規定していますが、既に、北九州事業地域の変圧器、コンデンサー等については、平成 30 年 3 月 31 日に処分期間が終了し、計画的処理完了期限である平成 31 年 3 月末日までに処理が完了したところであり、他の事業地域においても順次処分期間が到来することとなり、残された時間は限られています。

特に、電気事業法（昭和 39 年法律第 170 号）の電気工作物ではない X 線発生装置や溶接機等の非自家用電気工作物の中に組み込まれているコンデンサーについては、北九州事業地域の変圧器、コンデンサー等の処分期間後にも多く発覚したほか、PCB 含有絶縁油が使用されたものの存在も明らかになっており、これらについても、所有事業者及び保管事業者は、PCB 特別措置法により処分期間内に廃棄した上で自ら処理又は JESCO に処分委託することが義務付けられています。

こうした非自家用電気工作物のうち、X 線発生装置、溶接機及び昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤における高濃度 PCB を含むコンデンサー及び絶縁油（以下「高濃度 PCB 含有コンデンサー等」という。）の使用有無については、各機器のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期から判別可能です。

つきましては、貴団体の会員企業に対し、下記のとおり、使用中又は保管中の X 線発生装置、溶接機及び昇降機（エレベーター、エスカレーター）制御盤が高濃度 PCB 含有コンデンサー等を使用したものであるかの確認を促していただくとともに、該当する機器を所有している場合は、確実かつ早期に処分委託手続き等を行うことを周知徹底していただくようお願いいたします。

別添1

高濃度PCB含有絶縁油を使用した可能性のある工業用X線検査装置のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

一般社団法人 日本検査機器工業会

2020年3月27日

	当時の製造メーカー	製造年月	形式	備考
1	(株) 島津製作所	1980年以前(S55年)	WELTESシリーズ	高電圧トランスが油絶縁式
2	東京芝浦電気 (株)	1970年以前(S45年)	EX-200	高電圧トランスが油絶縁式
3	東京芝浦電気 (株)	1970年以前(S45年)	EXS-2型	高電圧トランスが油絶縁式
4	理学電機 (株)	1970年以前(S45年)	RFシリーズ	高電圧トランスが油絶縁式

高濃度PCB含有コンデンサを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期	
(株) オリジン	「OFP-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気 (株)	1955年4月～1972年4月	1972年5月～1992年12月	
	「4FR-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1955年4月～1972年4月	1972年5月～1988年10月	
	「5FR-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1955年4月～1972年4月	1972年5月～1993年3月	
	「C1FP-」または「C-1FP」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1955年4月～1972年4月	製造中止	
	「C4M-」または「C-4M-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1955年4月～1972年4月	製造中止	
	「OA-」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字	オリジン電気 (株)	1959年4月～1972年4月	1972年5月～1993年3月	
	「OAS-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気 (株)	1959年7月～1972年4月	1972年5月～1993年3月	
	「P-O」で始まる機種 ※○は1桁または2桁の数字	オリジン電気 (株)	1960年2月～1972年4月	1972年5月～1993年3月	
	「OD-」で始まる機種 ※電源部 ○は数字	オリジン電気 (株)	1960年5月～1972年4月	1972年5月～1993年5月	
	「C-1AS」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1960年7月～1972年4月	製造中止	
	「V-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1960年9月～1972年4月	1972年5月～1993年3月	
	「I-HP」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1961年1月～1972年4月	製造中止	
	「J-1～9-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1969年8月～1973年3月	1973年4月～1993年3月	
	「H-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1969年10月～1972年4月	1972年5月～1989年9月	
	「KFP-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1969年10月～1971年6月	製造中止	
	「4PO-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1970年3月～1971年3月	1973年11月～1985年6月 以降製造中止	
	「Z-OA-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気 (株)	1970年5月～1973年3月	1973年4月～1990年3月	
	「SA-○○」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気 (株)	1970年10月～1972年4月	1972年5月～1993年3月	
	「SP-○○」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気 (株)	1970年2月～1972年4月	1972年5月～1987年11月	
	「JV-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	—	1975年7月～1993年3月	
	「JP-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1970年3月～1973年3月	1973年4月～1993年3月	
	「JPF-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	—	1986年5月～1993年3月	
	「JZ-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1971年1月～1973年3月	1973年6月～1991年3月	
	「K-」で始まる機種 ※機構部のみ	オリジン電気 (株)	1970年10月～1972年4月	1972年5月～1993年3月	
	「D-」で始まる機種 ※電源部のみ	オリジン電気 (株)	1970年6月～1972年4月	1972年5月～1993年5月	
	「OAP-」で始まる機種 ※○は数字	オリジン電気 (株)	1971年1月～1972年4月	1972年5月～1982年2月 以降製造中止	
	「KAP-」または「K-AP-」で始まる機種	オリジン電気 (株)	1970年6月～1971年6月	製造中止	
	「OP-15」※プラズマ溶接機	オリジン電気 (株)	1971年3月～1972年4月	1972年5月～1977年7月 以降製造中止	
	「OP-40」※プラズマ溶接機	オリジン電気 (株)	1971年8月～1972年4月	1972年5月～1978年10月 以降製造中止	
	「OPW-100」※プラズマ溶接機	オリジン電気 (株)	—	1972年12月～1977年1月 以降製造中止	
	「OPW-200」※プラズマ溶接機	オリジン電気 (株)	—	1984年2月 以降製造中止	
	「OPW-300」※プラズマ溶接機	オリジン電気 (株)	—	1978年3月 以降製造中止	
	「PCD-100-405」※プラズマ切断機	オリジン電気 (株)	—	1977年3月～1982年2月 以降製造中止	
	「PCD-100-406」※プラズマ切断機	オリジン電気 (株)	—	1981年10月～1985年3月 以降製造中止	
	「PCD-150-380」※プラズマ切断機	オリジン電気 (株)	—	1975年12月～1980年3月 以降製造中止	
	「PCD-150-416」※プラズマ切断機	オリジン電気 (株)	—	1985年8月～1991年8月 以降製造中止	
	※使用コンデンサメーカー：日ケミ、マルコン（現：日ケミ山形）、ニチコン				
	(株) ダイヘン	HP掲載の通り (https://www.daihen.co.jp/csr/pcb/index08.html)			

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
電元社トーア（株）	定置式スポット溶接機 SLPシリーズ	東亜精機（株） （～1988年） ナストーア（株） （1988年～2011年）	1970年7月～1973年3月	1973年4月～1990年3月
	定置式プロジェクション溶接機 P0シリーズ			
	定置式シーム溶接機 RCK・RCG・RUGシリーズ			
	タイマーコンタクター TCシリーズ			
	屋根シーム溶接機 S5-TH-Yシリーズ			
（株）ナ・デックス	IC タイマ：SC4 型	（株）名古屋電元社	使用していません	1989年までの製造品が対象です
	CMOSタイマ：TCC4-17*	（株）名古屋電元社	使用していません	
	マイコンエース：M**-****	（株）名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅠ：TMCO-***/GSM-***	（株）名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅡ：TCUO-****/CSU-***	（株）名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅢ：U30-****	（株）名古屋電元社	使用していません	
	ユニバーサルⅣ：U40-****	（株）名古屋電元社	使用していません	
	RWC：U32-****	（株）名古屋電元社	使用していません	
	AWC：AWC-**	（株）名古屋電元社	使用していません	
PHASE 1：PH1-****	（株）名古屋電元社	使用していません		
パナソニック（株）	別紙の通り			
（株）育良精機	該当なし			
OBARA（株）	該当なし			
（株）神戸製鋼所	該当なし			
（株）向洋技研	該当なし			
（株）中央製作所	該当なし			
デンヨー（株）	該当なし			
（株）電溶工業	該当なし			
古河電工パワーシステムズ（株）	該当なし			

高濃度PCB含有コンデンサを使用した溶接機のメーカー名、機器名、型式名及び製造時期

回答企業	設備型式・機種	メーカー	PCB含有コンデンサの使用時期	微量PCB混入が懸念されるコンデンサの使用時期
パナソニックスマートファクトリーソリューションズ(株)	下記の通り			

記

PCB使用溶接機／微量PCB混入溶接機について

① 1972年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1972年以前に製造された溶接機には、PCBを使用しているものがあります。
溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。
主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。
対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします

【PCB使用溶接機品番と製造期間】(*には数字/英文字が入ります)

○製造期間:1957年(昭和32年)～1972年(昭和47年)

LAW-136(5)*	YK-136(5)E*	YK-136(5)F*
LAW-256(5)*	YK-206(5)E*	YK-186(5)F*
LAW-306(5)*	YK-256(5)E*	YK-206(5)F*
LAW-406(5)*	YK-306(5)E*	YK-256(5)F*
LAW-506(5)*	YK-406(5)E*	YK-306(5)F*
	YK-506(5)E*	YK-406(5)F*
		YK-506(5)F*

○製造期間:1957年(昭和32年)～1959年(昭和34年)

SAW-066(5)

○製造期間:1957年(昭和32年)～1963年(昭和38年)

SAW-306(5)

SAW-506(5)

○上記以外は個別にお問い合わせください

② 1990年以前に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1990年以前に製造された溶接機には、製造時における微量PCB混入の可能性を完全に否定することができないものがあります。

溶接機の主銘板の写真と、主銘板に記載された情報(型式名、品番、製造年他)をご連絡ください。

主銘板が判別できない場合、溶接機本体の写真の送付をお願いします。

対象機種に対しては、PCB特措法に準拠した適正な処理をおねがいたします。

③ 1991年以降に製造された溶接機(主銘板に記載された製造年を確認ください)

1991年以降に製造された溶接機は、製造時におけるPCBの混入の可能性ある対象機種に該当いたしません。